

風疹予防対策



三輪 なお子 議員

Q 患者急増の拡大防止対策は

A 抗体検査及び定期接種の無料実施

議員 昨夏より首都圏などで風疹患者が急増している。①市の現状
福祉部長 ①南部保健所管内での届け出数によると、30代から50代の男性を中心に11件②39歳から56歳の男性を対象に3年間、抗体検査の無料クーポン券を個別に発送。全国の医療機関で使用できる。十分な抗体が無いと判明した場合、無料で風疹の定期接種を受けることができる。

盟店登録する必要がある。高齢者が買い物に出かけることは社会参加の一つとなり、健康維持に一助となることから、関係部局と連携し、戸田市商工会に働きかけていく。

その他の質問

Q 若年層の献血を増やすには。
A 若年層の参加しやすい日程および会場の提供を検討する。

敬老祝品（コイン型商品券）の協賛店舗を拡大しては

議員 使用実績について伺う。



福祉部長 換金率は約9割。協賛店舗165店舗のうち、60店舗での利用実績となっている。協賛店舗は、特に美女木・笹目地区において少ない現状である。
議員 協賛店舗を拡大しては。
福祉部長 硬貨型商品券の協賛店舗となるには、戸田市商工会に加

▶風疹予防対策の啓発リーフレット（出典：厚生労働省）

子育て支援



浅生 和英 議員

Q ベビーシッターなど訪問型の支援を
A 現在考えてない

議員 訪問型の子育て支援を行っている自治体が複数ある。官民連携や補助金の活用で、子育て支援の充実、子育て中のさまざまな状況に対応できるサービスを要望する。①ベビーシッターなどの訪問型の支援を②「子育て支援員」という全国共通の認定資格取得の養成講座を実施しているが、市民への周知不足である。今後の展開は、**子ども青少年部長** ①市内3カ所に病児・病後児保育施設を設置しており、受け入れ態勢は十分と認識していることから、訪問型の保育事業は現在考えていない②これまでの成果と課題を整理し、来年度中に方向性を検討する。

2021年度完成予定と聞く。①戸田駅前へ路線バスの乗り入れを②西部地域の住民には、tocoバス南西循環はライフライン、生活の一部である。南西循環のルート見直しと16時台の増便を。
都市整備部長 ①バス事業者と交渉したが乗り入れは困難との回答。東口駅前整備の際にも交渉する。
市民生活部長 ②運行事業者には幾つか課題もあるようだが、継続的に協議を進めていく。

戸田駅前整備と公共交通の利便性向上は

議員 戸田駅西口駅前交通広場が



▲戸田駅前整備の完成イメージ

高齢者施策

佐藤 太信 議員

Q 介護疲れやストレスを感じる人への支援を

A 継続的な支援を行う

議員 高齢者がいつまでも元気に過ごせるよう課題解決に向けた取り組みが必要と考える。①足腰が悪く、ごみ出し困難な方への支援を②介護と育児を同時に見るダブルケア、負担軽減のため相談窓口の一本化を③高齢者虐待件数、対策を。介護疲れやストレスを感じる人への支援を④消費者被害は、詐欺の手口が多様化している。警察との連携、予防策の展開を。
福祉部長 ①ボランティア等による支援を検討②平成32年度に福祉総合相談窓口を設け、一本化する③家庭での虐待件数は51件（平成29年度）、地域包括支援センターや民生委員と連携、虐待を受けた方、してしまつた方への継続的な支援を行う④地域ケア会議にて警察と情報共有、連携する。

が増加することが予想される。今後の交通施策は。

都市整備部長 買い物難民等に関し、地域の声を聞いて課題に取り組む。民間主導やデマンド型の交通サービスの導入が有効な場合、具体的な検討に入る。
議員 高齢者等の公共交通利用促進に向けたシルバーパスの導入検討を。
市長 財政的な影響を整理した上で、導入に向けて進める。



▲福祉総合相談ふくふく窓口（提供：東京都国立市役所）

介護保険

むとう 葉子 議員

Q ケアプランの点検は、どのように進めるのか
A 適切な計画かを協議する

議員 第7期介護保険制度の改定では、本市でも介護給付費を抑制し、サービスの利用が一層、厳しくなるという懸念がある。認定調査のチェックやケアプランの点検等は、どのように進めるのか。
福祉部長 「要介護認定の適正化」はチェック漏れが無いかを確認。また、「ケアプラン点検」は居宅介護支援事業所へ訪問し、自立を促すような適切な計画かを協議する。

に寄り添った解決策が求められている。教育相談業務の成果はあるが、相談員が代わることで再び不登校となるケースがある。継続して勤務できる正規雇用には、
教育部長 相談員が継続して勤務できる環境づくりを研究する。

その他の質問

Q 市内小学校におけるクラブハウスのトイレは使用しづらいとの声がある。修繕の検討を。
A 必要に応じて修繕を実施する。



▲美谷本小学校のクラブハウストイレ

一般質問

不登校児童生徒の対応は

議員 不登校児童生徒には、本人

議員 要介護認定では、審査をスムーズに進めるよう要望する。ケアプランの中には、自立より現状維持が困難なケースもある。認知症や看取り等の支援では、多くのサービスが利用されている。必要な支援を抑制しているのでは。
福祉部長 自立支援および重度化防止の視点で確認している。